

# News Release



2023年10月26日  
NITE（ナイト）  
独立行政法人製品評価技術基盤機構  
四国支所

## シーズン初めの石油ストーブ安全大作戦 ～5つのポイントで火災事故を防ごう！～ (四国地方における事故を中心に)

本資料は、製品評価技術基盤機構（以下「NITE（ナイト）」という。）が経済産業記者会、経済産業省ペンクラブ及び消費者庁記者クラブに対して行う、石油ストーブ及び石油ファンヒーター（以下、「石油ストーブ等」という。）を防ぐための注意喚起にあわせて、四国地方4県での事故事例を補足的に紹介するものです。

石油ストーブ等の時期が近づきました。

取り扱い方法を誤ると火災が発生し、死亡事故等重大事故につながることから NITE 四国支所では消費者の皆様にご注意を呼びかけます。

### ○カートリッジタンクの蓋はしっかりと閉めましょう。

- 灯油がこぼれて引火し火災になることがあります。

参考動画 <https://www.nite.go.jp/jiko/chuikanki/poster/nenshou/1171.html>

### ○ガソリンや農器具用の燃料等を間違えて給油しないよう注意しましょう。

- 異常燃焼が発生し火災になることがあります。

参考動画 <https://www.nite.go.jp/jiko/chuikanki/poster/nenshou/02040101.html>

### ○洗濯物や衣類等を近づけることはやめましょう。

参考動画 <https://www.nite.go.jp/jiko/chuikanki/poster/kaden/01180102.html>

## 1. 四国地方での事故

### (1) 年別事故発生件数と被害状況

2018年から2022年の間にNITE（ナイト）に通知のあった製品事故情報のうち、四国地方4県（徳島県、香川県、愛媛県、高知県）で発生した石油ストーブ等の火災事故は、合計9件ありました。

事故の被害状況では、9件の事故のうち「死亡」が1件、「軽傷」が2件、「拡大被害」が6件です。

事故件数等の詳細については、表1に年別事故発生件数を、表2に被害状況別事故発生件数及び被害者数を、表3に原因区分別事故発生件数を示します。

表1. 年度別事故発生件数

		愛媛県	香川県	高知県	徳島県	合計
発 生 年	2018年度	0	0	0	2	2
	2019年度	1	0	0	0	1
	2020年度	1	1	0	1	3
	2021年度	1	0	0	0	1
	2022年度	0	0	2	0	2
合計		3	1	2	3	9

表2. 被害状況別事故発生件数及び被害者数

		愛媛県	香川県	高知県	徳島県	合計
被害 状況	死亡	1	0	0	0	1
	重傷	0	0	0	0	0
	軽傷	0	0	2	0	2
	拡大被害	2	1	0	3	6
	製品破損	0	0	0	0	0
	被害無し・不明	0	0	0	0	0
合計		3	1	2	3	9
被害 者 数	死亡	2	0	0	0	2
	重傷	0	0	0	0	0
	軽傷	0	0	2	0	2
	合計	2	0	2	0	4

(注) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害(製品破損)に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

表3. 原因区分別事故発生件数

		愛媛県	香川県	高知県	徳島県	合計
製品に 起因する 事故	A: 設計、製造又は表示等に問題があったもの	0	0	0	0	0
	B: 製品および使い方に問題があったもの	0	0	0	0	0
	C: 経年劣化によるもの	0	0	0	0	0
	G3: 製品起因であるが、その原因が不明のもの	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0
製品に 起因しな い事故	D: 施工、修理又は輸送などに問題があったもの	0	0	0	0	0
	E: 誤使用や不注意によるもの	1	0	0	0	1
	F: その他製品に起因しないもの	1	0	0	1	2
	小計	2	0	0	1	3
G: 原因不明なもの (G3を除く)		1	1	0	2	4
H: 調査中		0	0	2	0	2
合計		3	1	2	3	9

## (2) 四国地方において発生した事故の事例

### ①2021年3月、愛媛県、男性・年齢不明\_\_高齢者、死亡

品名：石油ストーブ（開放式）

#### 【事故の内容】

使用中の石油ストーブ付近から出火して、住宅を全焼、隣接する建物4棟を類焼し、2人が死亡した。

#### 【事故の原因】

事故品は、カートリッジタンクのふた（ワンタッチ式）のロック部品の形状が社告対象品ではなく、ふたは完全にロックされた状態であったこと、しん調節つまみ及びしんが消火位置にあったこと、及び異常燃焼と油漏れの痕跡が認められなかったことから、製品に起因しない事故と推定される。

### ②2021年 12月、愛媛県、女性・80歳以上、拡大被害

品名：石油ストーブ（開放式）

#### 【事故の内容】

石油ストーブを点火したところ、出火し、機器及び周辺を焼損した。

#### 【事故の原因】

事故品は、置台に堆積した大量の埃が給気口を塞いで給気不足となり、不完全燃焼によって未燃灯油や煤が燃焼筒周辺の部材に付着し、吹き返し現象により燃焼筒下の空気取り入れ口から炎が吹き出し、置台の埃に引火したものと推定される。なお、本体側面の「使用上のご注意」には、「2か月に1回付着したごみや埃をふきとってください。」旨、記載されている。

### ③2020年 12月、香川県、女性・70歳代、拡大被害

品名：石油温風暖房機（開放式）

#### 【事故の内容】

当該製品を使用中、建物を全焼する火災が発生した。

#### 【事故の原因】

当該製品の残存する部品に異常燃焼等の痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、基板等の部品の詳細が確認できなかったため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。

## 2. 事故の再現実験映像について

映像（動画・写真）をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+nite ロゴ」としてください。

（本件に関する問い合わせ先）

〒760-0023 香川県高松市寿町1-3-2 日進高松ビル5F

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 四国支所

担当者：三谷（みたに）、丸田（まるた）、佐藤（さとう）

電話：087-851-3961